

ジョサマイ[®]シロップ3%

Josamy[®] Syrup 3%
ジョサマイシンプロピオン酸エステルシロップ

<参考：本剤の色・形状・貯法（添付文書記載値）>
色・形状：白色の濃稠な懸濁液
貯法：遮光、気密容器、室温保存

試験条件	温度
最悪条件	30℃
室温保存	室温となりゆき（詳細条件参照）
最良条件	5℃

ジョサマイシロップ3% 配合変化表 <本剤の性状：白色の濃稠な懸濁液>

配合薬剤			配合 単味	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合剤の性状	中間条件（室温保存）					最良条件まとめ	最悪条件まとめ	備考	
製品名	メーカー名	成分名					詳細 条件	測定 項目	配合直後	1日	3日				7日
ジョサマイシロップ(3%) <本剤単味データ>	山之内	ジョサマイシンプロピ オン酸エステル	単味	/	適量	白色の濃稠な 懸濁液	室温	外観	室温、室内散光下3カ月まで変化なし				5℃（褐色瓶、6カ月）で 6カ月後まで変化なし	30℃（褐色瓶、6カ月）で 6カ月後まで変化なし	
								pH							
								残存率							

<112 催眠鎮静剤, 抗不安剤>

[1] 有機ブロム化合物製剤

プロバリオン	日本新薬	ブロムワレリル尿素	配合	0.2g	20mL	[無色又は白色の結晶 又は結晶性の粉末]	室温	外観	-	-	-	-	5℃（7日）で 7日後まで変化なし	30℃（7日）で 7日後よりpHが低下 （7.43→7.26） （7日後の残存率99%）	冷所（5℃）保存しないとpH低下を起こす 7日後まで再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	7.43			7.35			
								残存率							

<112 催眠鎮静剤, 抗不安剤>

[5] バルビツール酸系及びチオバルビツール酸系製剤

フェノバルエリキシル (0.4%)	藤永 - 三共	フェノバルビタール	配合	3mL	20mL	[桃紅色の澄明な液] 5.03	室温	外観	-	-	-	-	5℃（7日）で 7日後まで変化なし	30℃（7日）で 7日後まで変化なし （7日後の残存率101%）	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合 も、7日後まで再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	7.22			7.22			
								残存率							

<114 解熱鎮痛消炎剤>

[1] アニリン系製剤

ピリナジン	山之内	アセトアミノフェン	配合	0.3g	20mL	[白色の散]	室温	外観	-	-	-	-	5℃（7日）で 7日後まで変化なし	30℃（7日）で 7日後まで変化なし （7日後の残存率96%）	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合 も、7日後まで再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	7.24			7.20			
								残存率							
ポンタールシロップ(3.25%)	三共	メフェナム酸	配合	12mL	20mL	[白色の懸濁液] 4.07	室温	外観	-※1	-※1	-※1	-※1	5℃（7日）で 7日後まで変化なし	30℃（7日）で 7日後まで変化なし （7日後の残存率106%）	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合 も、7日後まで再分散可能（振盪により懸濁） ※1：配合後、静置するとゲル化して固まり、強 く振とうするとともに液状になる
								pH	5.60			5.65			
								残存率							

<114 解熱鎮痛消炎剤>

[4] ピラゾロン系製剤

日局スルピリン水和物		スルピリン水和物	配合	0.3g	20mL	[白色～淡黄色の結晶 又は結晶性の粉末]	室温	外観	-	やや黄色±	やや黄色+	やや黄色+	5℃（7日）で 7日後より変色(+) 変色：→7日後 やや黄色	30℃（7日）で 1日後より変色(±) 3日後より変色(+) 変色：→3日後 やや黄色	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合 も変色（黄変）
								pH	7.40			7.30			
								残存率							

<114 解熱鎮痛消炎剤>

[9i] その他

ブルフェン顆粒(20%)	科研製薬	イブプロフェン	配合	1.0g	20mL	[白色の顆粒]	室温	外観	-	-	黄変+	黄変+	5℃（7日）で 7日後まで変化なし （7日後の残存率107%）	30℃（7日）で 1日後より変色(+) 変色：→1日後 黄変	冷所（5℃）保存しないと変色を起こす 7日後まで再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	5.96			6.01			
								残存率							

<117 精神神経用剤>

[9i] その他

リーゼ顆粒(10%)	吉富	クロチアゼパム	配合	0.05g	20mL	[白色の顆粒]	室温	外観	-	-	-	-	5℃（7日）で 7日後まで変化なし	30℃（7日）で 7日後まで変化なし （7日後の残存率100%）	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合 も、7日後まで再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	7.44			7.45			
								残存率							
アタラックス-Pシロップ (0.5%)	ファイザー	ヒドロキシジンパモ酸 塩	配合	5mL	20mL	[淡橙色の液] 4.89	室温	外観	-	-	-	-	5℃（7日）で 7日後まで変化なし	30℃（7日）で 7日後にpHが低下 （6.87→6.73） （7日後の残存率100%）	冷所（5℃）保存しないとpH低下を起こす 7日後まで再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	6.87			6.82			
								残存率							
アタラックス-Pシロップ (0.5%)	ファイザー	ヒドロキシジンパモ酸 塩	配合	17mL	20mL	[淡橙色の液] 4.66	室温	外観	-	-	-	-	5℃（3日）で 3日後まで変化なし	データなし	5℃保存/室温保存いずれの場合も、3日後まで 再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	6.31			6.25			
								残存率							

<211 強心剤>

[5] カフェイン系製剤

ネオフィリン末	三生 - エー ザイ	アミノフィリン水和物	配合	0.12g	20mL	[白色～微黄色の粒又 は粉末]	室温	外観	-	-	黄変+	黄変+	5℃（7日）で 7日後まで変化なし	30℃（7日）で 3日後より変色(+) 変色：→3日後 黄変 （7日後の残存率100%）	冷所（5℃）保存しないと変色を起こす 7日後まで再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	8.45			8.43			
								残存率							

製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

性状の項の[]は添付文書、日本薬局方品（メーカー名なし）は日本薬局方より引用

ジョサマイシロップ3% 配合変化表 <本剤の性状：白色の濃稠な懸濁液>

配合薬剤			配合 単味	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合剤の性状	中間条件（室温保存）					最良条件まとめ	最悪条件まとめ	備考
製品名	メーカー名	成分名					詳細 条件	測定 項目	配合直後	1日	3日			

<213 利尿剤> [9i] その他

イソバイド	日研	イソソルビド	配合	24mL	20mL	[無色～淡黄褐色の液] 2.42	室温	外観	-	-	褐変+		5℃（3日）で 3日後まで変化なし	データなし	冷所（5℃）保存しないと変色を起こす 3日後まで再分散可能（振盪により懸濁） 配合時より酸っぱく苦い
								pH	3.73		3.75				
								残存率							

<214 血圧降下剤> [2] ヒドララジン製剤

10%アプレソリン散「チバ」	チバガイギー	ヒドララジン塩酸塩	配合	0.1g	20mL	[白色～帯黄白色の散]	室温	外観	-	やや黄色±	やや黄色+	やや黄色+	5℃（7日）で 7日後より変色（+） 変色：→7日後 やや黄色	30℃（7日）で 1日後より変色（±） 7日後より著しく変色（+） 変色：→1日後 やや黄色→7日後 黄色	5℃保存／室温保存／30℃保存のいずれの場合も 変色（黄変）
								pH	6.90			6.81			
								残存率							

<222 鎮咳剤> [1] エフェドリン及びマオウ製剤

メチエフ10倍散	田辺	d1-メチルエフェドリン 塩酸塩	配合	0.25g	20mL	[白色の粉末]	室温	外観	-	-	-	-	5℃（7日）で 7日後まで変化なし	30℃（7日）で 7日後まで変化なし （7日後の残存率111%）	5℃保存／室温保存／30℃保存のいずれの場合も、 7日後まで再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	7.41			7.38			
								残存率							

<222 鎮咳剤> [9i] その他

フスタゾール散（10%）	吉富	クロベラスチンフェン ジソ酸塩	配合	0.15g	20mL	[白色の散]	室温	外観	-	-	-	-	5℃（7日）で 7日後まで変化なし	30℃（7日）で 7日後まで変化なし （7日後の残存率105%）	5℃保存／室温保存／30℃保存のいずれの場合も、 7日後まで再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	7.42			7.41			
								残存率							
アストミンシロップ（0.25%）	山之内	ジメモルファンリン酸 塩	配合	10mL	20mL	[橙色澄明の粘稠な液] 4.07	室温（16.0 ～27.5℃）	外観	-	-	-	-	（データなし）	30℃（7日）で 7日後まで変化なし	室温保存／30℃保存のいずれの場合も、7日後まで 再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	5.75			5.78			
								残存率							
アストミンシロップ（0.25%）	山之内	ジメモルファンリン酸 塩	配合	10mL	20mL	[橙色澄明の粘稠な液] 4.07	室温	外観	-	-	-	-	（データなし）	30℃（7日）で 7日後まで変化なし （7日後の残存率94.9%）	室温保存／30℃保存のいずれの場合も、7日後まで 再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	5.75			5.78			
								残存率							

<222 鎮咳剤> [9J] エフェドリン・ノスカピン・クロルフェニラミン剤（生薬配合を含む）

フスタコデイン （販売中止）	日本ケミファ	鎮咳配合剤（1）	配合	0.7g	20mL		室温	外観	-	-	-	-	5℃（7日）で 7日後まで変化なし	30℃（7日）で 7日後まで変化なし （7日後の残存率111%）	5℃保存／室温保存／30℃保存のいずれの場合も、 7日後まで再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	6.97			6.95			
								残存率							

<223 去たん剤> [4] ブロムヘキシン製剤

ビソルボンシロップ（0.08%）	ベーリンガー - 田辺	ブロムヘキシン塩酸塩	配合	5mL	20mL	[無色澄明の粘性の液] 3.39	室温	外観	-	-	-	-	5℃（7日）で 7日後まで変化なし	30℃（7日）で 7日後まで変化なし （7日後の残存率100%）	5℃保存／室温保存／30℃保存のいずれの場合も、 7日後まで再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	6.04			6.05			
								残存率							
ビソルボンシロップ（0.08%）	ベーリンガー - 田辺	ブロムヘキシン塩酸塩	配合	5mL	20mL	[無色澄明の粘性の液] 3.33	室温	外観	-	-	-	-	5℃（3日）で 3日後まで変化なし	データなし	5℃保存／室温保存いずれの場合も、3日後まで 再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	6.13			6.13			
								残存率							
小児用ムコソルバンシロップ 0.3%	帝人ファーマ	アンブロキシール塩酸 塩	配合	6mL	20mL	[無色澄明の液] 2.6	室温	外観	白色の粘着性 のある懸濁液	-	-	-	5℃（7日）で 7日後まで変化なし	30℃（7日）で 7日後まで変化なし （7日後の残存率101%）	
								pH	6.00	6.00	6.00	6.00			
								残存率	100.0	102.8	102.7	101.5			
ビソルボン液 （販売中止）	ベーリンガー - 田辺	ブロムヘキシン塩酸塩	配合	2mL	20mL	2.66	室温	外観	-	-	-	-	5℃（7日）で 7日後まで変化なし	30℃（7日）で 7日後まで変化なし （7日後の残存率101%）	5℃保存／室温保存／30℃保存のいずれの場合も、 7日後まで再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	6.75			6.75			
								残存率							

<224 鎮咳去たん剤> [1] 植物性製剤

プロチン液（3.3%）	三共	桜皮エキス	配合	4mL	20mL	[暗赤褐色の液] 7.54	室温（16.0 ～27.5℃）	外観	-	-	-	-	（データなし）	30℃（7日）で 7日後まで変化なし	室温保存／30℃保存のいずれの場合も、7日後まで 再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	7.16			7.19			
								残存率							
プロチン液（3.3%）	三共	桜皮エキス	配合	4mL	20mL	[暗赤褐色の液] 7.54	室温	外観	-	-	-	-	（データなし）	30℃（7日）で 7日後まで変化なし （7日後の残存率91.1%）	室温保存／30℃保存のいずれの場合も、7日後まで 再分散可能（振盪により懸濁）
								pH	7.16			7.19			
								残存率							

製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

性状の項の[]は添付文書、日本薬局方品（メーカー名なし）は日本薬局方より引用

ジョサマイシロップ3% 配合変化表 <本剤の性状：白色の濃稠な懸濁液>

配合薬剤			配合 単味	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合剤の性状	中間条件 (室温保存)				最良条件まとめ	最悪条件まとめ	備考
製品名	メーカー名	成分名					詳細 条件	測定 項目	配合直後	1日			

<224 鎮咳去たん剤>

[9 i] その他

アスベリンシロップ(0.5%)	田辺	チベジンヒベンズ酸塩	配合	6mL	20mL	[白色～淡黄灰白色の懸濁液] 4.50	室温(16.0～27.5℃)	外観	-	-	-	-	(データなし)	30℃(7日)で7日後まで変化なし	室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	6.19			6.23			
								残存率							
アスベリンシロップ(0.5%)	田辺	チベジンヒベンズ酸塩	配合	6mL	20mL	[白色～淡黄灰白色の懸濁液] 4.50	室温	外観	-	-	-	-	(データなし)	30℃(7日)で7日後まで変化なし(7日後の残存率101.4%)	室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	6.19			6.23			
								残存率							
アスベリンシロップ(0.5%)	田辺	チベジンヒベンズ酸塩	配合	6mL	20mL	[白色～淡黄灰白色の懸濁液] 4.79	室温	外観	-	-	-	-	5℃(7日)で7日後まで変化なし	30℃(7日)で7日後まで変化なし(7日後の残存率101%)	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	6.28			6.29			
								残存率							
アスベリンシロップ「調剤用」(2%)	田辺	チベジンヒベンズ酸塩	配合	1.5mL+水4.5mL	20mL	[白色～淡黄灰白色の懸濁液] 4.74	室温	外観	-	-	-	-	5℃(7日)で7日後まで変化なし	30℃(7日)で7日後まで変化なし(7日後の残存率93%)	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	6.84			6.84			
								残存率							
アスベリンドライシロップ(2%)	田辺	チベジンヒベンズ酸塩	配合	1.0g/水3mL	20mL	[橙色の微粒状の散] 3.64	室温	外観	-	-	-	-	5℃(7日)で7日後まで変化なし	30℃(7日)で7日後まで変化なし(7日後の残存率111%)	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	6.47			6.46			
								残存率							

<224 鎮咳去たん剤>

[9 T] その他の配合剤

メジコンシロップ	塩野義	デキストロメトールファン臭化水素酸塩水和物・クレゾールスルホン酸カリウム	配合	4mL	20mL	[淡黄褐色澄明の粘稠な液] 3.84	室温	外観	-	-	-	-	5℃(7日)で7日後まで変化なし	30℃(7日)で7日後まで変化なし(7日後の残存率105%)	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	6.64			6.64			
								残存率							

<225 気管支拡張剤>

[2] イソプレナリン系製剤

ブリカニール細粒(販売中止)	藤沢	テルブタリン硫酸塩	配合	0.6g	20mL		室温	外観	-	-	-	-	5℃(7日)で7日後まで変化なし	30℃(7日)で7日後まで変化なし(7日後の残存率102%)	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	7.49			7.49			
								残存率							

<225 気管支拡張剤>

[4] サルブタモール製剤

ベネトリンシロップ(0.04%)	グラクソ-三共	サルブタモール硫酸塩	配合	18mL	20mL	[無色～淡黄色澄明の濃稠な液] 3.64	室温	外観	+※1	±	±	+※1	5℃(7日)で配合直後より変化(+)*1	30℃(7日)で配合直後より変化(+)*1	配合直後より苦みあり※1:苦い
								pH	4.47			4.49			
								残存率							

<225 気管支拡張剤>

[9 i] その他

イノリン散(1%)	田辺	トリメトキノール塩酸塩水和物	配合	0.2g	20mL	[白色の微粒状の散]	室温	外観	-	-	黒ずむ±	黒ずむ+	5℃(7日)で7日後まで変化なし(7日後の残存率94%)	30℃(7日)で3日後より変色(+) 7日後より著しく変色(++) 変色:→1日後 黒ずむ→7日後 さらに黒ずむ	冷所(5℃)保存しないと変色を起す 7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	7.37			7.37			
								残存率							
イノリンシロップ(0.1%)	田辺	トリメトキノール塩酸塩水和物	配合	6mL	20mL	[無色～淡黄褐色澄明の液] 4.18	室温	外観	-※1			-※1	5℃(7日)で7日後まで変化なし※1(7日後の残存率105%)	30℃(7日)で7日後まで変化なし※1	※1:やや苦い→冷所(5℃)保存しないと苦みが増す可能性あり 7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	5.85			5.90			
								残存率							

<231 止しゃ剤、整腸剤>

[6] 活性生菌製剤

レベニン	わかもと	耐性乳酸菌配合剤(1)	配合	1.0g	20mL	[白色の粉末]	室温	外観	-	-	-	-	5℃(7日)で7日後まで変化なし(7日後の残存率100%)	30℃(7日)で7日後まで変化なし	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	7.34			7.30			
								残存率							
ラックビー	日研化学	ビフィズス菌製剤(4)	配合	1.5g	20mL	[白色～灰黄白色]	室温	外観	-	-	-	-	5℃(7日)で7日後まで変化なし	30℃(7日)で7日後まで変化なし(7日後の残存率91%)	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	6.98			6.97			
								残存率							

<231 止しゃ剤、整腸剤>

[8] ジメチコン製剤

ガスコン散(10%)	キッセイ	ジメチコン	配合	0.4g	20mL	[白色の粉末]	室温	外観	-	-	-	-	5℃(7日)で7日後まで変化なし	30℃(7日)で7日後よりpHが上昇(7.83→7.96) (7日後の残存率104%)	冷所(5℃)保存しないとpHが顕著に上昇 7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	7.53			7.83			
								残存率							
ガスコンドロップ	キッセイ	ジメチコン	配合	2mL	20mL	[白色の乳濁液] 5.27	室温	外観	ゲル化※1	ゲル化※1	ゲル化※1	ゲル化※1	5℃(7日)で7日後まで変化なし(ゲル化傾向あり)	30℃(7日)で7日後まで変化なし(ゲル化傾向あり) (7日後の残存率96%)	7日後まで再分散可能(振盪により懸濁) (ゲル化傾向にある為、特に振とうを要す) ※1:振盪により懸濁
								pH	7.22			7.24			
								残存率							

製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

性状の項の[]は添付文書、日本薬局方品(メーカー名なし)は日本薬局方より引用

ジョサマイシロップ3% 配合変化表 <本剤の性状：白色の濃稠な懸濁液>

配合薬剤			配合 単味	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合剤の性状	中間条件（室温保存）					最良条件まとめ	最悪条件まとめ	備考
製品名	メーカー名	成分名					詳細 条件	測定 項目	配合直後	1日	3日			

<239 その他の消化器官用薬>

[9i] その他

プリンペランシロップ(0.1%)	藤沢	メトクロプラミド	配合	20mL	20mL	[無色透明の液]	室温	外観	±※1	±	±	±※1	5℃(7日)で 配合直後よりわずかに変化(+) ※1	30℃(7日)で 配合直後よりわずかに変化(+) ※1	配合直後より苦みあり ※1: やや苦い
						2.63		pH	4.88			4.95			
						残存率									
プリンペランシロップ(0.1%)	藤沢	メトクロプラミド	配合	14mL	20mL	[無色透明の液]	室温	外観	—	ゲル化※1	ゲル化※1		5℃(3日)で 1日後よりゲル化	データなし	3日後まで再分散可能(振盪により懸濁) (ゲル化傾向にある為、特に振とうを要す) ※1: 振盪により懸濁
						2.75		pH	5.08		5.10				
						残存率									

<245 副腎ホルモン剤>

[4] フッ素付加副腎皮質ホルモン製剤

デカドロンエリキシル(0.01%)	万有	デキサメタゾン	配合	15mL	20mL	[赤色の液]	室温	外観	—	—	—	—	5℃(7日)で 7日後まで変化なし	30℃(7日)で 7日後まで変化なし (7日後の残存率104%)	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
						3.29		pH	6.35			6.36			
						残存率									
デカドロンエリキシル(0.01%)	万有	デキサメタゾン	配合	15mL	20mL	[赤色の液]	室温	外観	—	—	—		5℃(3日)で 3日後まで変化なし	データなし	5℃保存/室温保存いずれの場合も、3日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
						3.30		pH	6.33		6.33				
						残存率									
リンデロンシロップ(0.01%)	塩野義	ベタメタゾン	配合	15mL	20mL	[橙色のほとんど透明な液]	室温	外観	—	—	—		5℃(7日)で 7日後まで変化なし	30℃(7日)で 7日後まで変化なし (7日後の残存率100%)	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
						3.08		pH	5.16			5.14			
						残存率									
リンデロンシロップ(0.01%)	塩野義	ベタメタゾン	配合	15mL	20mL	[橙色のほとんど透明な液]	室温	外観	—	—	—		5℃(3日)で 3日後まで変化なし	データなし	5℃保存/室温保存いずれの場合も、3日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
						2.95		pH	5.16			5.17			
						残存率									

<245 副腎ホルモン剤>

[9J] 配合剤

セレスタミンシロップ(0.01%)	シェリングブ ラウ	ベタメタゾン・d-クロ ルフェニラミンマレイ ン酸塩	配合	5mL	20mL	[橙色のほとんど透明な液]	室温	外観	—	—	—	—	5℃(7日)で 7日後まで変化なし	30℃(7日)で 7日後まで変化なし (7日後の残存率103%)	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
						3.22		pH	5.93			5.89			
						残存率									
セレスタミンシロップ(0.01%)	シェリングブ ラウ	ベタメタゾン・d-クロ ルフェニラミンマレイ ン酸塩	配合	15mL	20mL	[橙色のほとんど透明な液]	室温	外観	—	—	—		5℃(3日)で 3日後まで変化なし	データなし	5℃保存/室温保存いずれの場合も、3日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
						3.03		pH	5.21			5.20			
						残存率									

<313 ビタミンB剤(ビタミンB1剤を除く。)>

[1] ビタミンB2剤

フラビタンシロップ(0.3%)	トーアエイ ヨー	フラビンアデニンジ スクレオチド	配合	4mL	20mL	[黄色透明の粘稠性の液]	室温	外観	—	—	—	—	5℃(7日)で 7日後まで変化なし	30℃(7日)で 7日後まで変化なし (7日後の残存率101%)	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
						5.08		pH	6.79			6.76			
						残存率									

<332 止血剤>

[7] 抗プラスミン剤

トランサミンシロップ(5%)	埼玉第一	トラネキサム酸	配合	13mL	20mL	[淡赤色の液]	室温	外観	—	—	—	—	5℃(7日)で 7日後まで変化なし	30℃(7日)で 7日後まで変化なし (7日後の残存率105%)	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
						6.03		pH	6.31			6.28			
						残存率									

<395 酵素製剤>

[9i] その他

レフトーゼ顆粒(10倍)	日本新薬	リゾチーム塩酸塩	配合	0.2g	20mL	[白色の顆粒剤]	室温	外観	—	—	—	—	5℃(7日)で 7日後まで変化なし	30℃(7日)で 7日後よりpHが低下 (7.58→7.47) (7日後の残存率109%)	冷所(5℃)保存しないとpH低下を起こす可能性あり 7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
						7.58		pH	7.58			7.58			
						残存率									
ノイチーム顆粒(10%)	エーザイ	リゾチーム塩酸塩	配合	0.2g	20mL	[白色の顆粒]	室温	外観	—	—	—	—	5℃(7日)で 7日後まで変化なし	30℃(7日)で 7日後まで変化なし (7日後の残存率109%)	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
						7.37		pH	7.37			7.37			
						残存率									
レフトーゼシロップ(0.5%)	日本新薬	リゾチーム塩酸塩	配合	8mL	20mL	[無色透明のやや粘稠な液]	室温	外観	—	—	—	—	5℃(7日)で 7日後まで変化なし	30℃(7日)で 7日後まで変化なし (7日後の残存率104%)	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
						3.29		pH	7.15			7.13			
						残存率									
レフトーゼシロップ(0.5%)	日本新薬	リゾチーム塩酸塩	配合	8mL	20mL	[無色透明のやや粘稠な液]	室温	外観	—	—	—	—	5℃(3日)で 3日後まで変化なし	データなし	5℃保存/室温保存いずれの場合も、3日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
						3.15		pH	6.98			7.01			
						残存率									

製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

性状の項の[]は添付文書、日本薬局方品(メーカー名なし)は日本薬局方より引用

ジョサマイシロップ3% 配合変化表 <本剤の性状：白色の濃稠な懸濁液>

配合薬剤			配合 単味	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合剤の性状	中間条件（室温保存）					最良条件まとめ	最悪条件まとめ	備考
製品名	メーカー名	成分名					詳細 条件	測定 項目	配合直後	1日	3日			

<399 他に分類されない代謝性医薬品>

[9i] その他

モニラック・シロップ(0.5%)	中外	ラクツロース	配合	10mL	20mL	[無色～淡黄色澄明の 粘性の液] 3.57	室温	外観	-	-	-	-	5℃(3日)で 3日後まで変化なし	データなし	冷所(5℃)保存しないとpH低下を起こす 3日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	6.87		6.74				
								残存率							

<441 抗ヒスタミン剤>

[3] フェノチアジン系製剤

アリメジンシロップ(0.05%)	埼玉第一	アリメジン酒石酸塩	配合	10mL	20mL	[赤色澄明の濃稠な液] 2.50	室温(16.0 ~27.5℃)	外観	-	-	-	-	(データなし)	30℃(7日)で 7日後まで変化なし	室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで 再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	5.77			5.81			
								残存率							
アリメジンシロップ(0.05%)	埼玉第一	アリメジン酒石酸塩	配合	10mL	20mL	[赤色澄明の濃稠な液] 2.50	室温	外観	-	-	-	-	(データなし)	30℃(7日)で 7日後まで変化なし (7日後の残存率96.8%)	室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで 再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	5.77			5.81			
								残存率							
アリメジンシロップ(0.05%)	埼玉第一	アリメジン酒石酸塩	配合	10mL	20mL	[赤色澄明の濃稠な液] 2.68	室温	外観	-	-	-	-	5℃(3日)で 3日後まで変化なし	データなし	5℃保存/室温保存いずれの場合も、3日後まで 再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	5.80		5.78				
								残存率							

<441 抗ヒスタミン剤>

[9i] その他

タバジルシロップ(0.01%)	三共 - サンド	クレマスチンフマル酸塩	配合	7mL	20mL	[無色のやや粘稠な液] 6.31	室温(16.0 ~27.5℃)	外観	-	-	-	-	(データなし)	30℃(7日)で 7日後まで変化なし	室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで 再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	6.65			6.66			
								残存率							
タバジルシロップ(0.01%)	三共 - サンド	クレマスチンフマル酸塩	配合	7mL	20mL	[無色のやや粘稠な液] 6.31	室温	外観	-	-	-	-	(データなし)	30℃(7日)で 7日後まで変化なし (7日後の残存率101.8%)	室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで 再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	6.65			6.66			
								残存率							
ポララミンシロップ(0.04%)	シェリングブラウ	d-クロルフェニラミン マレイン酸塩	配合	6mL	20mL	[橙色のほとんど澄明 な液] 6.16	室温(16.0 ~27.5℃)	外観	-	-	-	-	(データなし)	30℃(7日)で 7日後まで変化なし	室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで 再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	7.25			7.29			
								残存率							
ポララミンシロップ(0.04%)	シェリングブラウ	d-クロルフェニラミン マレイン酸塩	配合	6mL	20mL	[橙色のほとんど澄明 な液] 6.16	室温	外観	-	-	-	-	(データなし)	30℃(7日)で 7日後まで変化なし (7日後の残存率96.5%)	室温保存/30℃保存のいずれの場合も、7日後まで 再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	7.25			7.29			
								残存率							
ベリアクテン100倍散	万有	シプロヘプタジン塩酸 塩水和物	配合	0.4g	20mL	[白色の粉末]	室温	外観	-	-	-	-	5℃(7日)で 7日後まで変化なし	30℃(7日)で 7日後まで変化なし (7日後の残存率105%)	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合 も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	7.37			7.35			
								残存率							
ベリアクテンシロップ (0.04%)	万有	シプロヘプタジン塩酸 塩水和物	配合	10mL	20mL	[無色～微黄色澄明の 液] 3.57	室温	外観	-	-	-	-	5℃(7日)で 7日後まで変化なし	30℃(7日)で 7日後まで変化なし (7日後の残存率100%)	5℃保存/室温保存/30℃保存のいずれの場合 も、7日後まで再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	6.54			6.54			
								残存率							
ベリアクテンシロップ (0.04%)	万有	シプロヘプタジン塩酸 塩水和物	配合	10mL	20mL	[無色～微黄色澄明の 液] 3.72	室温	外観	-	-	-	-	5℃(3日)で 3日後まで変化なし	データなし	5℃保存/室温保存いずれの場合も、3日後まで 再分散可能(振盪により懸濁)
								pH	6.50		6.51				
								残存率							

<その他>

製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

性状の項の[]は添付文書、日本薬局方品（メーカー名なし）は日本薬局方より引用

(1) 保存条件：日本薬剤師会・調剤技術委員会の配合変化試験法(薬剤学, 19(4), 276(1959))に準じて実施した

(2) 外観変化

-：変化の全く認められないもの

±：変化の有無の疑わしいもの

+：明らかに、変化は認められるが実際の調剤投与に差し支えない程度のも

++：調剤投与に差支える程度の変化が認められるもの